

小寺玉菟 こでらたまう 文人。寛政十一年五月十八日尾張國生れ、明治十一年九月二十六日歿（一八〇〇—七六）。講義路、字好古、通稱寅次郎、九右衛門。別號東杉舎、珍文館、續學舎、進城亭等。小寺黃政の養子となり、ゆかり家。維新後官に就く。好筆家、雜學者として知られ、著述多敷きを殘す。

刊本は、『尾張藩遊集』（昭和九年八月二十六日愛知・名古屋温故會）出あり。

